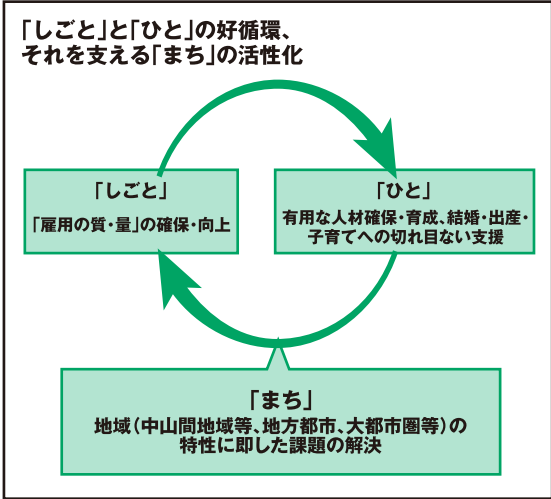


はじめに

■中井町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・中井町総合戦略とは

- 国では、まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持することを目標に、まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」を策定しており、地方自治体にも「地方版人口ビジョン」（国の「長期ビジョン」に相当）及び「地方版総合戦略」の平成27年度中の策定を求めています。
- 中井町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略（以下「人口ビジョン」、「総合戦略」という。）は、国が定める長期ビジョン・総合戦略及び県が定める人口ビジョン・総合戦略を踏まえつつ、同時期に策定している第六次中井町総合計画と整合を図って策定しています。
- 総合戦略は、人口減少と地域経済の縮小を克服し、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指すもので、国が示す①自立性、②将来性、③地域性、④直接性、⑤結果重視の政策5原則に基づくとともに、中井町の状況を踏まえ、国の総合戦略で示された4つの基本目標に基づいて策定しています。



まち・ひと・しごとの創生と好循環

◆国総合戦略の4つの基本目標

基本目標 1	地方における安定した雇用を創出する	基本目標 2	地方への新しいひとの流れをつくる
基本目標 3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	基本目標 4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

■総合戦略の期間と見直し

- 総合戦略の実施期間は、平成27年度から平成31年度の5か年とします。
- 総合戦略は、第六次中井町総合計画との調整を図りながら実施しますが、国からの財政的支援の状況、県との調整、施策の効果検証等を踏まえながら必要な見直しを行います。

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
●人口ビジョン、総合戦略の策定 ●先行型事業の実施	●戦略に基づく取組の実施 ●重要業績評価指標（KPI）に基づく取組の効果検証と見直し			

1 人口ビジョン

1-1 中井町の人口特性

人口は減少傾向で、若者の転出抑制と未婚者比率の高さが人口減少の要因

- 中井町では1995年の約10,000人をピークとして人口が減少していますが、10歳代後半から30歳代前半にかけて町外に転居する人が多いことと、若い女性の人口が少なく、さらに若い世代では結婚していない人の比率が高いため、合計特殊出生率（女性が一生のうちに産む子どもの数に相当）が低いことが大きな要因と考えられます。

1-2 将来の人口動向

何らかの手を打たなければ2060年には5,500人にまで人口が減少

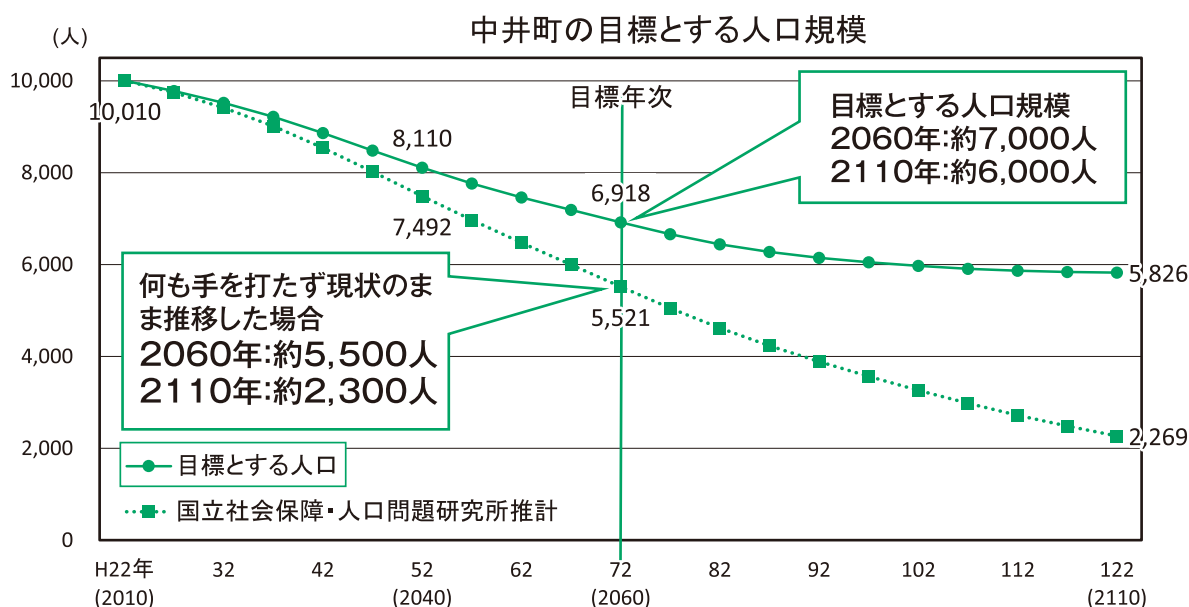
- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の将来人口推計によると、このまま何も手を打たずに現状のまま推移すると、2060年にはピーク時の半分近い5,500人にまで人口が減少するものと推計されています。

1-3 目標とする人口規模

2060年に約7,000人の人口規模を確保し、活力ある地域社会を維持

- 中井町の人口特性や現状、住民意向などから導き出される6つの基本目標に基づく取組を推進することで、若年層の転出抑制と転入増加、合計特殊出生率の上昇を促進し、少子高齢化の急速な進行を抑制しつつ、2060年においても7,000人の人口を維持することを目標とします。
- そのため、以下の目標を設定します。

- ▷ 合計特殊出生率を2040年までに1.80に、2055年までに2.07まで上昇させる
- ▷ 若年層の純移動（転入と転出の差）を社人研推計値に比べ、年10人（3世帯）程度改善する

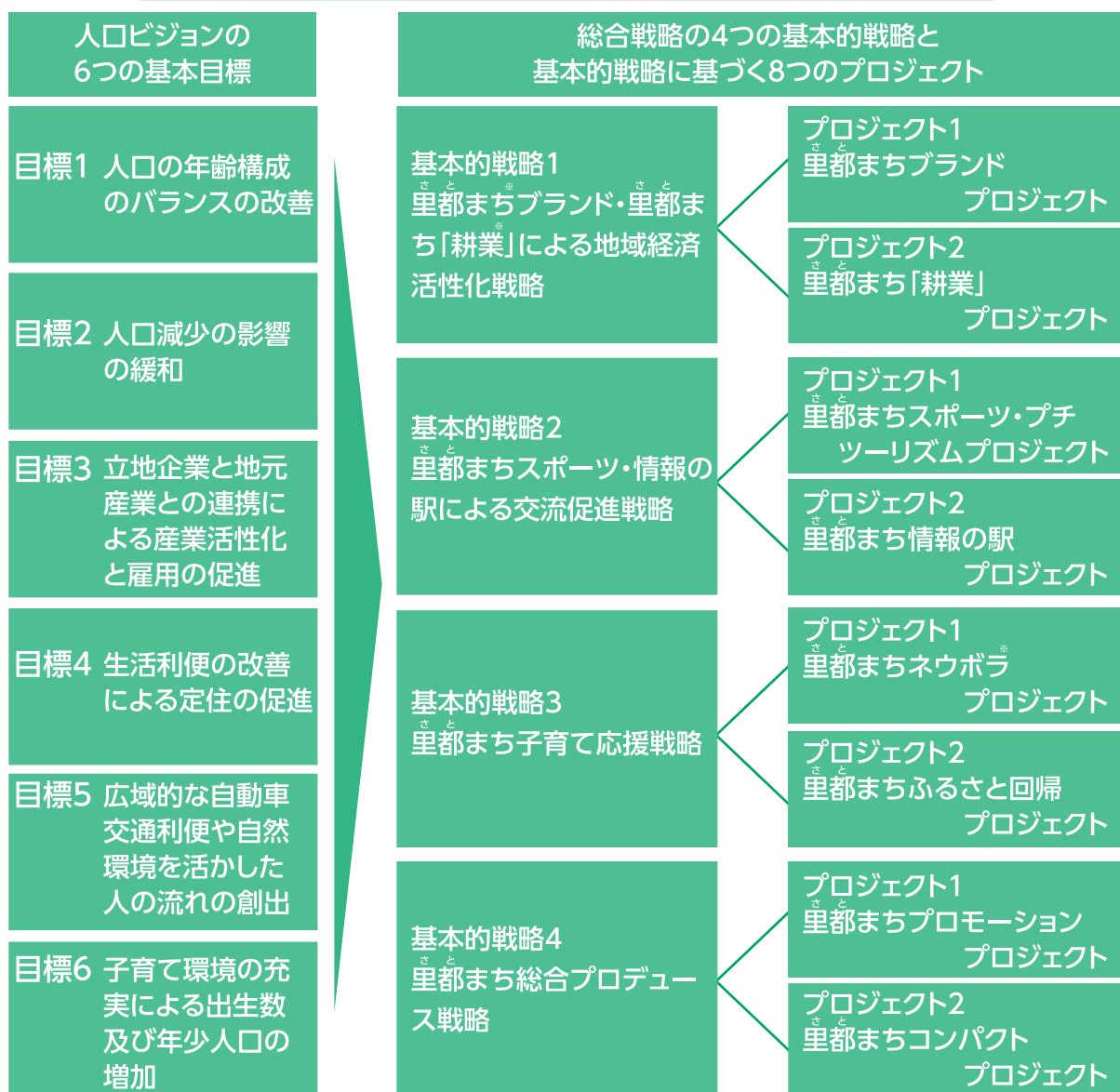


資料: 国立社会保障・人口問題研究所、平成22年国勢調査

2 人口ビジョンと総合戦略との関係

- 総合戦略は、人口ビジョンの目標人口を達成するための取組を、国が定める4つの柱に基づいて位置づけたものです。
- 人口ビジョンにおける6つの基本目標を踏まえ、4つの基本的戦略と戦略に基づく8つのプロジェクトを実施することで目標人口の確保を目指します。

2060(平成72)年の目標人口:約7,000人



※里都まち：中井町の特徴であるやすらぎある豊かな自然環境（＝里）と、都市的な生活を味わえる生活環境（＝都）とを合わせた造語。

※耕業：中井町の中に眠っているヒトやモノなどの資源を深く掘り起こし、新たな風を送り込むことで新たな仕事を創出することを意味する造語。

※ネウボラ：妊娠から出産、6歳までの期間、子どもの周りに起こる色々な問題に対し、特別な教育を受けた保健師や助産師が配置され、一貫した総合的なサービスを提供するフィンランドの子育て支援機関のこと。フィンランド語で「アドバイスを受ける場所」の意味。

3 総合戦略

人口ビジョンで示した2060年の目標人口7,000人を確保するため、豊かな自然環境に囲まれた生活の営みと、交通の要衝であり有名民間企業等が多数立地する都市的利便性が融合、調和するという本町の特徴を活かした個性あるまちづくりを進めるとともに、以下の3つの視点からの取組を推進します。

- 1) 若いファミリー世帯による活気を創出する
- 2) 里山など自然環境の魅力を際立たせる
- 3) 協働とチャレンジによる活力づくり

基本的戦略1「^{さと}里都まちブランド・^{さと}里都まち「^{さと}耕業」による地域経済活性化戦略」

国の基本目標1：地方における安定した雇用を創出する

中井町には、豊かな自然環境のなかで農業が営まれ、環境と調和した工業団地があります。この農業と町民のアイデアやグリーンテクなかい等に進出する企業等の力を連携させ地域の経済力を向上させます。

	目標項目	目標値(H31)	基準値
数値目標	新規就農者数	10戸	現況4戸
	新規起業者数	5社	現況0社

【プロジェクト1】^{さと}里都まちブランドプロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
○ ^{さと} 里都まちブランド特産品開発事業 農商工・町民が連携して、町内の農産物等を活用した特産品を企業・大学と連携して創出するとともに、「 ^{さと} 里都まちブランド」として認定するしくみを構築し、商品化を図ります。	認定品目数	10品目
	農家/企業/大学/町民/町	
○ ^{さと} 里都まちブランド流通マーケティング事業 ^{さと} 里都まちブランドの、町内社員食堂での提供、農産物直売所などでの販売などを皮切りに、全国展開に向けた流通販路を確保し、新しいマーケットの開拓・ビジネス展開を目指します。	^{さと} 里都まちブランド 販売施設数(町内)	3施設
	農家/企業/大学/町	

【プロジェクト2】^{さと}里都まち「^{さと}耕業」プロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
○「起農・創農者」支援事業 農業の担い手の確保・育成を図るため、作業小屋の提供とともに農業機械の貸し出しや営農指導等の支援を行います。 また、遊休農地等を活用し、農家が指導しながら新規就農希望者への野菜、果樹、酪農、花卉等の農業体験を実施します。	新規就農者数	10戸
	農家/企業/町	
○起業・NPO等設立支援事業 起業、創業等希望者に対し、専門家による起業セミナーを、地元企業と連携して継続的に開催します。 また、町内の空き家等を活用した事務所や店舗の開設を支援します。	新規起業者数	5社
	企業/金融機関/商工会/町	

基本的戦略2「^{さと}里都まちスポーツ・情報の駅による交流促進戦略」

国の基本目標2：地方への新しいひとの流れをつくる

里山などの自然と美しい景観の中でスポーツができる中井中央公園、ジョギングや散策ができるネットワーク、子どもから高齢者まで楽しめる公園は町の財産です。町で暮らす住民はすべて中井の宝です。この財産や宝を活かして企業や研究機関と町民が連携して交流人口と定住人口の増加を促進します。

	目標項目	目標値(H31)	基準値
数値目標	交流人口	200,000 人	現況 150,000 人
	転入者数	440 人	現況 384 人

【プロジェクト1】^{さと}里都まちスポーツ・プチツーリズムプロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
○ ^{さと} 里都まちスポーツ交流人口増加事業 中井町特有のスポーツ環境を活かし、ジョギングコースの整備、交流試合、スポーツ関連イベント、ゴルフ場の活用などの取組を行い、町内外の住民・企業・大学の交流を促進します。 さらに、近隣大学・中井中央公園指定管理者等によるスポーツ教室の開催、練習場の提供によりスポーツ交流を促進します。	スポーツ関連 イベント参加 者数(年)	1,500 人
	大学/企業/町	
○ ^{さと} 里都まちスポーツ・プチツーリズム事業 企業・大学との連携による健康や体力向上の「見える化」の実施や、「未病を改善する」県西地域活性化プロジェクトとの連携による、おもてなし型スポーツツーリズム、四季折々の里山の自然に触れるレクリエーション型スポーツツーリズムを実施します。	未病センター 利用者数(年)	1,000 人
	企業/大学/町	
○ ^{さと} 里都まちスポーツのまち事業 子どもから高齢者までの幅広いスポーツ振興をつうじて、「健康で快適なまち」、合宿所や休憩所を提供するなど企業と連携したアスリートとの交流や生涯スポーツの促進など、町なかで日常的にスポーツが実施されている、誰でもスポーツが楽しめる「健康増進のまち」として中井町のまちづくりを進め、PRしていきます。	スポーツ実施 率	50%
	町民/企業/町	

【プロジェクト2】^{さと}里都まち情報の駅プロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
○Wi-Fi スポット設置事業 町内に整備したケーブルテレビ網を利用し、いつでもだれでも手軽に超高速ネットワークにアクセスできる環境を整備することを目的に役場庁舎をはじめとする町内の拠点に Wi-Fi スポットを設置します。 この整備により、町民をはじめ来町される観光客などの利便性向上を図ります。 また Wi-Fi スポットは、災害時の通信手段としても活用できるものとします。	Wi-Fi スポット 設置	9 か所
	大学/企業/町	
○情報コンテンツ等開発支援事業 企業や大学等の協力を得ながら、 ^{さと} 里都まちブランド・スポーツなどの地域情報を発信する情報コンテンツの開発を支援します。 情報の更新は、町内の NPO 団体が担うなど運営体制を視野に入れた事業展開を図ります。	コンテンツ 延べ閲覧回 数(累計)	50,000 回
	企業/大学/町	
○プチ田舎だけど便利なまち定住支援事業 企業との連携により、各家庭や事業所にインターネットを整備することで、情報インフラの充実による里山環境に囲まれた在宅勤務や週末移住などのライフスタイルを提案し、定住を促進します。	インターネ ット接続率	80%
	町民/企業/町	

基本的戦略3「^{さと}里都まち子育て応援戦略」

国の基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

身近な自然と暖かい地域コミュニティが中井町にはあります。その特性を活かすとともに、安心して子どもを産み育てるために経済的支援を行うことにより、合計特殊出生率をあげ、子どもたちを増やします。

数値目標	目標項目	目標値(H31)	基準値
	出生数	61 人/年	43 人/年

【プロジェクト1】^{さと}里都まちネウボラプロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
○保育料・給食費助成事業 安心して子どもを産み育てることができるように、町内の子どもの保育料助成と学校給食費の補助により、次代を担う子どもの成長と子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。	こども園等の園児増加数	+ 3 人
	小中学生の転出者減少数	- 3 人
	出生数の増加数	+ 5 人
	町	
○切れ目のない相談・情報発信事業 子育て支援に係る情報や各種制度等を取りまとめたハンドブックを作成・提供し、子育て相談を継続して実施します。 また、関係機関と連携した総合的な相談・支援を行う場として「なかいネウボラ」を設置し、切れ目のない子育て支援を実現します。	なかいネウボラ設置箇所数	1 か所
	町	
○ ^{さと} 里都まち子ども居場所づくり事業 小学生等を対象に、土日、放課後等に、多様なスポーツに親しんだり、社会体験をしたりするプログラムを大学、企業、町民と連携して実施し、子どもの居場所づくりを実現します。	プログラム実施回数(月)	6 回
	町民/企業/大学/町	
○多様な雇用形態の創出支援事業 子育て環境の充実のために、地元企業への働きかけなどをつうじて、子育て世代の多様な雇用環境を提案し実現していきます。 これにより、企業イメージの向上とともに子育て世代の町内への転入増加を目指します。	実施企業数	1 社
	企業/町	

【プロジェクト2】^{さと}里都まちふるさと回帰プロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
○三世代家族推進事業 町内における三世代同居等を推進することで、子どもを安心して産み育てられ、高齢者等が安心して暮らせる健康で幸せな住環境をつくるため、住宅の購入、増改築・リフォーム等を行う方に、必要な費用の一部を支援します。 また、町内の空き家情報の提供やマッチングも併せて実施します。	助成件数(年)	3 件
	町	
○ ^{さと} 里都まち暮らし応援隊事業 町外に転出した若年層の町内へのUターンのきっかけづくりを行うために、転出しても中井町との関係が切れないように応援します。 また、ふるさと回帰イベントを実施するなど、ふるさと中井町への回帰を実現します。	里都まち暮らし応援隊員数	10 人
	町	

基本的戦略4 ^{さと}里都まち総合プロデュース戦略

国の基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

中井町は、里山などの自然環境、東名高速道路秦野中井インターチェンジ、県道71号秦野二宮線などの広域幹線道路の良さ、隣接する自治体にある医療機関や商業施設などの利便性を有しています。また、住宅地としては身近に豊かな自然があり、ゆったりとした生活をするすることができます。この環境の良さを一層際立たせるとともに、鉄道駅がない弱点を克服するため、利便性と知名度を向上させます。

	目標項目	目標値(H31)	基準値
数値目標	利便性が向上したと感じている町民	80%	62%
	中井町を推奨している町民	60%	41%

【プロジェクト1】 ^{さと}里都まちプロモーションプロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
^{さと} ○里都まちプロモーション事業 中井町ならではの魅力を活かし、知名度の向上・組合せによる展開・マグネット効果による集客力の向上などを総合的にプロデュースするシティプロモーションを大学・企業と連携しながら実施します。	中井町を推奨している町民	60%
	町	
^{さと} ○里都まち暮らしの質向上事業 中井町での暮らしの魅力を町民自身が再発見する中で、生活の質を向上させます。 こうした取組をつうじて、新たな魅力を創出するとともに、 ^{さと} 里都まちの空間的魅力を再生し、生活実態に根ざした魅力向上を町民とともに創出します。	利便性が向上したと回答する町民の割合	80%
	町	
^{さと} ○里都まち好循環のまち事業 各プロジェクトが好循環を生み出し、持続的な展開を運動的に継続していくことを目指します。	取材件数(年)	12 件
	町民/企業/大学/町	

【プロジェクト2】 ^{さと}里都まちコンパクトプロジェクト

具体的な施策	重要業績評価指標(上段) 主な主体(下段)	
^{さと} ○中心拠点・小さな拠点形成事業 「中井中央公園」を含めた、役場周辺地区については、生活の利便性向上を図るために、バスターミナルの設置や商業施設を誘致するとともに、新たに住宅用地を設け、都心からの定住・移住を促進します。さらに、定住・移住者に対しては、後継者不足などにより耕作されていない荒廃農地を整備し貸し出すことにより、滞在型市民農園などの整備促進に努めます。 また、町民協働による農家の軒先販売所、空き家等を活用したサロンなど小さな拠点を整備・創出します。	小さな拠点認定数	2 か所
	町民/町	
^{さと} ○交通ネットワーク形成事業 交通弱者や買い物弱者などの移動をサポートする生活交通の充実、自転車によるまちづくりの推進など、福祉・産業・環境などの総合的な観点から、町民協働のもと進めていきます。	オンデマンドバス利用者数(年)	7,000 人 (H29 年度末)
	町民/町	